

DxO View Point v1.2.1 – リリースノート

Windows 版と Macintosh 版

システム要件

- Windows : Microsoft[®] Windows[®] XP SP3 (32 bit) 、Windows[®] Vista[®] (32 / 64 bit) 、Windows[®] 7 (32 / 64 bit) 、Windows[®] 8 (32 / 64 bit) 、Intel[®] Pentium[®] 4 プロセッサ、Intel[®] Core™ 2 Duo プロセッサ、または AMD[®] Dual-Core プロセッサ
- Macintosh : Mac OS X 10.6 スノーレパード (64 bit) 、Mac OS X 10.7 ライオン、Mac OS X 10.8 マウンテンライオン、Intel-Mac[®] プロセッサ
- 最低 2 GB の RAM

インストール

- 弊社製品をインストールする前に、Microsoft Windows の最新アップデートのインストールを奨励
- スタンドアロン版、Photoshop と Lightroom 用プラグイン版のインストールするためには DxO サイトからインストーラをダウンロードし起動する必要あり
- DxO ViewPoint の 1 ライセンスに対して (Mac / Windows 問わず) 2 台までライセンス認証可能
- DxO ViewPoint のライセンス認証は、一度の操作で全ての版のライセンス認証が完了 (スタンドアロン版のライセンス認証をするとインストールされている Photoshop と Lightroom プラグイン版のライセンス認証も同時に完了)

DxO ViewPoint 1.2.1の新機能

- Adobe Photoshop Lightroom 5 との互換性
- Adobe Photoshop CC との互換性

DxO ViewPoint 1.2 の新機能

- 現在作業中の画像に対して適用されている補正内容を保存し、プラグインモードで再び開いた同じ画像や、同じような欠点をもつ他の画像に対して、後から再適用することが可能になった。
- ソフトウェア内にデモ画像を内蔵し、ユーザが特殊なケースの補正のテストをできるようになった。
- DxO Labs が提供するオンラインデータバンク DxO Academy の様々なチュートリアルやウェビナーへのダイレクトなアクセスが追加された。

DxO ViewPoint 1.2で修正されたバグ

- 安定性に関する諸問題の修正

DxO ViewPoint 1.1.1で修正されたバグ

- 極端なキーストーン補正による諸バグの修正

DxO ViewPoint 1.1 の新機能

- 右回りと左回りの回転ツールが追加され、補正作業の前に向きが正しく認識されていない画像の回転が可能
- キーストーン補正が、さらに使いやす、より精確に
 - ズーム率の切り替えがスムーズになり、ハンドツールによる移動、ズームイン、ズームアウト間の自動的切り替え可能

- キーストーン補正の際、補正用ラインごとの移動が可能
 - アンカーポイントが矢印キーで移動可能になり、より精確に
 - (Windows 版) タブキーを使ってアンカーポイントの移動可能
- クロップ (切り取り) が、さらに使いやすく、より精確に
 - キーストーンと水平補正で生じた黒い部分を含むクロップを除外し、補正後画像の利用できる範囲に限るオプション追加
 - 四角クロップで画像の向きを、自動/手動を問わず自動的に検知
 - 四角クロップの向きを簡単に変更
 - クロップのカスタム比率設定追加
 - クロップの枠の位置を矢印キーで調整可能
- アプリケーション内でのワークフロー改善
 - キーストーン補正が不可能な場合にユーザに警告
 - 補正を保存せずにアプリケーションを閉じた場合、ダイアログで保存するかどうかを確認。
 - [全てをリセット] 機能が追加され、画像を補正の無い状態に戻すことが可能
- ユーザ・インターフェースの改善
 - スライダ上でクリックすると、クリックされた場所に値を変更するのではなく、値を徐々に上げ下げする
 - 画像サイズとクロップの現サイズの表示可能 (プリファレンスにて設定) (Windows 版) タブキーを使ってスライダ上と数値入力欄との移動可能
- スタンドアロン版の改善
 - [ファイル] メニューの [閉じる] コマンドを追加し、アプリケーションを閉じずに別の画像を開くことが可能
 - [ファイル] メニューの [最新ファイルを開く] コマンドを追加し、最近開いた 10 個のファイルをすぐに開くことが可能
- (Mac 版) レティナディスプレイを一部サポートしインターフェース表示に対応
- Windows 8 をサポート

DxO ViewPoint 1.1で修正されたバグ

- ボリューム歪増補正
 - EXIF 情報が壊れていたり、無い場合の画像管理の改善
- クロップツール
 - クロップの四角枠の改善: プレビュー画面で画像からはみ出しているクロップができないように修正
- [元に戻す] コマンド
 - 水平補正とクロップツールを使った場合、[元に戻す] コマンドが正常に機能するように改善
- ユーザ・インターフェース改善
 - アンドックしたパレットの位置が保存され再起動時に再現
 - Mac 版でも、キーボードショートカットが機能 ([G]は罫線 (グリッド)、[F]は全画面表示 (フルスクリーン)、[C]はクロップツールに対応)!
 - クロップの境界線がグループ内にある場合の表示を改善
- プラグイン
 - Photoshop CS 用プラグイン: Photoshop を閉じたときの補正の保存に関するバグの修正
 - Lightroom からプラグイン版を呼び出す際、[ファイル] メニュー>外部エディタ、[ファイル] メニュー>エクスポート、[ファイル] メニュー>プリセットと一緒にエクスポート、の選択肢を削除
- インストーラ
 - アプリケーションをアンインストールするとき、アプリケーションが開いていることを警告するように修正
- 安定性
 - アプリケーションのクラッシュの修正 (処理中にユーザがアプリケーションを閉じたり、パレットがアンドックされている場合)
 - [クラッシュセンドー] が起動したとき関係のないメッセージが出ないように修正

他のソフトとの互換性

- Adobe Photoshop CS3 (32 ビット対応)、CS4 (32 と 64 ビット対応)、CS5 (32 と 64 ビット対応)、CS6 (32 と 64 ビット対応)、CC (32 と 64 ビット対応)
- Adobe Photoshop Lightroom 3/4/5 (32 と 64 ビット対応)